

作成 令和2年6月30日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和2年第2回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和2年6月25日～
議事録（抜粋）

2 アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化について

○松本議員

2 アフターコロナでの中小企業支援と相談態勢強化について、コロナにより経済は大きな打撃を受けていることはいうまでもありません。そこで本市中小企業のおかれた環境と本市コロナ対策についてどのようにされてきたのかお聞かせください。

(略※)

○松方生活環境部長

アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化についてのご質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症により、本市中小企業につきましても大きな影響を受けているところでございます。2月下旬には感染症拡大の防止のため政府による外出自粛の促しが行われ、飲食店や小売店の来客が減少し4月の緊急事態宣言により、さらに来客が減少し休業する飲食店や小売店も見受けられる状況でございました。

また売上の減少の度合いに応じまして、市の「セーフティーネット保証認定」を取得し、一般保証とは別枠で利用できるセーフティーネット保証の認定件数は、制度開始の3月当初から5月末の3カ月で延べ687件とリーマンショック時を超える状況でございました。

そのような中で、本市では国や府よりも早く、市独自の中小企業への給付型支援策である新型コロナウイルス感染症対策小規模事業者等激励金を4月23日から実施し、併せて大阪府が主体として実施している休業要請支援金につきましても、市として共同で負担金を担うなど取り組みを行っております。合わせて商工会と連携しまして飲食店支援の摂津エール飯の事業にも取り組みを行いました。

(略※)

○松本議員

次に、中小企業支援と相談態勢強化についてですが、各種支援、摂津エール飯を行われきたことを高く評価致します。ただ経済への影響はすぐには回復しません。引き

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

続きの支援が必要ですが、今後の支援についてどうお考えかお聞かせください。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

今後の小規模商業者への更なる支援策といたしまして、セッピースクラッチ事業の予算を増額し、スクラッチカードの当たる確率を倍増にすることで、市民の方々が市内飲食店などのテイクアウトも含めて利用して頂き賑わいを回復させるよう消費を促してまいります。

○村上議長

松本議員

○松本議員

今後の支援については理解しました。このコロナ対応は経営者の取組みも重要です。飲食店ではテイクアウトやデリバリーに対応できたか。対面販売からネット販売への対応、B to Cの強化、そして第2波のコロナにも備え、柔軟な経営が必要です。ただ経営者だけでは判断難しく相談態勢の強化が必要ですが、どうお考えかお聞かせください。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

議員ご指摘のように、今後は新型コロナウイルスなどの感染症対策を前提に経営を行っていくことが経営者の方々に求められるものと考えております。

これまで本市では、中小企業経営者の経営改善の支援策といたしまして、中小企業診断士等の資格を持った方を派遣する中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業を実施してまいりました。併せて今回は、新型コロナウイルス感染症に対応しました経営改善の補助金申請についても支援を行ってまいりました。

今後は、今まで以上に中小企業経営者の経営改善の支援の必要性が増えていくものと考えております。

○村上議長

松本議員

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

経営支援の必要性が増えていると理解しました。前回お伝えした福知山のビジネスサポートセンターの事例では1年半で相談件数1,300件、相談内容についても、新製品・新サービス、情報収集、販路拡大、創業など他分野にわたり、充実したものになっています。

企業の存続発展は、経営者そして従業員の生活を守り、また各種税として市財政に貢献します。よって相談業務を充実させる取組が重要ですがどうお考えかお聞かせください。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

本市の中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業は、市内で引き続き1年以上事業を営むことなど一定の条件を設けておりますが、今年度、創設いたしました創業促進テナント賃借料補助事業におきましては、創業間もない創業者の方に中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業を活用していただき、事業計画書を作成していただくことを要件としており、賃借料補助の期間も引き続き活用していただくことを想定しております。

また、大阪産業振興機構の「マイドームおおさか」では、起業を検討されている方の相談、中小企業・小規模事業者の方々の売り上げ拡大、経営改善など、経営上のあらゆるお悩みの相談に対応する「大阪府よろず支援拠点」が開設されており、こちらにつきましてもご案内をさせていただいているところでございます。

このように本市のコンサルタント派遣事業や大阪府よろず支援拠点などの中小企業の経営改善のための相談業務の利用方法を事業者の方にご理解いただきまして、積極的な活用を図ることで相談業務の充実を図ってまいります。

○村上議長

松本議員

○松本議員

充実することについては理解しました。その促進には顔の見える化が必要です。その手段としてビジネスサポートセンター設置を検討すべきと考えますが、どうお考えかお聞かせください。

○村上議長

生活環境部長

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松方生活環境部長

相談業務の必要性については、重要な課題であると考えております。また議員ご指摘の他分野にわたります相談業務も含めまして、中小企業経営者への相談体制の重要性が増していることにつきましても理解しております。相談業務の継続性が必要な事例におきまして、顔の見える関係が相談結果を左右することは十分に考えられることでもあります。

しかしながら、まずは中小企業経営改善支援コンサルタント派遣事業、マイドームおおさかの「大阪府よろず支援拠点」の活用も図りながら、相談業務についてのニーズや課題を整理した上で、ビジネスサポートセンターの必要性を考えてまいりたいと考えております。

○村上議長

松本議員

○松本議員

是非、コロナ禍の厳しい経営環境の中、ビジネスサポートセンターを設置して経営者を支える相談体制強化を行うよう要望致します。

また引き続きの各種支援策充実も合わせて要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 アフターコロナでの学校教育の充実について
- 2 アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化について
- 3 時代ニーズに応じた墓地行政について
- 4 持続可能な次期一般廃棄物処理基本計画に向けて
- 5 シティプロモーション戦略の具体化について
- 6 道路交通を含む中長期的なまちづくり整備について
- 7-1 新たな危機管理体制について
- 7-2 市の新型コロナウイルス感染症対策体制について
- 8 市のガバナンスについて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]